

発達障害を抱えた子どもの 不登校解消に向けて

名城大学 曾山和彦

2009.4.3

学校適応に影響を及ぼす2要因

先行研究から特に次の2要因が指摘されている

1. ソーシャルスキル(社会性)
2. セルフエスティーム(自尊感情)

この2要因が十分に育っていない場合、
学校不適応を招きやすく、現象としての不登校、いじめなどが出現する

2

ソーシャルスキルの問題 ～自然には育たない～

<ソーシャルスキル縦断研究(石川,2007)>
小4～中1までの児童生徒対象。スキルは高学年が低い。不適応感も悪化。スキルは自然の時間経過によっては獲得されない。

スキルが十分に育っていないから、かかわりの中で自分が消える(不登校)か、相手を消す(いじめ)

3

セルフエスティームの問題 ～子どもは「炭鉱のカナリア」～

<日・米・中・韓のセルフエスティーム比較研究(日本青少年研究所,2005)>
日本の数値が最も低い。数値を通して、子どもたちが「助けて」と大人に訴えている

「I am OK」と言えない子どもたちが、「You are OK」とは言えない。同様に、自分や相手を消す

4

学校不適応の予防・解決に向けた 大人(教師、親)の役割

ソーシャルスキル、セルフエスティームが十分に育っていない子どもたちに対して

1. 対人関係のコツ(技)を教える
2. 自分に「OK!」と言えるようにする

プロとしての腕の見せどころ

発達障害が背景にある場合、障害理解が不可欠

5

発達障害とは;特徴及び主な障害

- 先天的
 - 症状が発達期(乳幼児期に多い)に出現
 - 生涯に渡る
- 基本的には、脳の機能的な問題が原因とされる

精神遅滞;認知の側面

脳性麻痺、筋ジストロフィーなど;運動の側面

発達性協調運動障害;手先の細かな動きの側面

LD、ADHD、高機能PDD

いわゆる軽度発達障害

通常学級で彼ら自身「困っている子どもたち」

発達障害者支援法 (2005年4月施行)

□ 支援法における発達障害定義

自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害をいう。

これまで教育や福祉の支援対象となっていなかったものに対し、国、地方公共団体の支援責務を明らかにした。また、学校教育における支援、福祉増進を目的とするため、対象はやや狭義になっている。

7

(軽度)発達障害の子どもたち

LD・ADHD・高機能自閉症等の発達障害のある子どもたちが小・中学校の通常学級には6.3%在籍する

どうい
子ども?

知的遅れがない
IQ70以上

「軽度」と言われた所以

特異な困難を示す

8

知的発達水準 IQの分布



9

LD (学習障害)

聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する、の中で、特異な困難がある <教育的LD> disabilities = 困難さ

言語性LD; 言語理解、表出、読み、書きの困難
非言語性LD; 空間、身体像、社会的知覚の困難

チェックポイント~スキップ、フォークダンス、縄跳びの困難

読み・書き・計算の障害 <医学的LD> disorders = 機能不全

ディスレクシア

10

ADHD (注意欠陥 / 多動性障害)

「不注意」、「多動性」、「衝動性」の三つの問題が見られる
セルフコントロールの発達障害

前頭葉の活動が不活発
(ドーパミンなどの神経伝達物質の量、働き!?)

実行機能障害、ワーキングメモリーの障害とも言われる

教室で、特に
気になる子ども

活性作用のある刺激剤
メチルフェニデート

リタリン コンサータ(日本初の治療薬)



PDD (広汎性発達障害)

・三つ組(社会性、コミュニケーション、想像力)の障害を有する
・「自閉症スペクトラム」と同義
・以下の5つのPDDがある

・自閉性障害(*この中で知的な遅れを伴わないものを、「高機能自閉症」という)
・レット障害
・小児期崩壊性障害
・アスペルガー障害
・特定不能PDD(*非定型自閉症と同義)

上記の中で、高機能自閉症、アスペルガー障害、知的な遅れを伴わない非定型自閉症を「高機能PDD」という

12

LDへの基本対応

例、読みの困難がある場合

- ・教科書を120%に拡大する
- ・文章の文節ごとに区切りをつける
- ・本人に文節ごとに で囲ませる

ゆっくり、正しく読めるようになった

教科支援の基本、該当学年より2～3学年下げた内容を！

ADHDへの基本対応

脳の実行機能に弱さがあるため、自らの動機付けが困難故に、報酬(ご褒美)で行動をコントロールすることが基本

改善目標を一つ決め、達成したらシールやスタンプの報酬等

「パソコン」というリソースで別人のように変わったC君

主な配慮事項

- ・注意や叱責の何倍もの賞讃を
- ・できていること、できそうなことを賞讃する
- ・賞讃、叱責は直後に明確に
- ・指示は必ず復唱させる
- ・クールダウンの場を設ける 等



14

C君(ADHD児)の支援例

やくそく
名前

シールが5枚たまったら、パソコン15分チケットをもらえる



- ・朝の歌をみんなと一緒に歌います(シール1枚)
- ・集会に本をもたずに参加します(シール2枚)
- ・教室でみんなと一緒に勉強します(シール2枚)
- ・放送室で先生と一緒に勉強します(シール1枚)

等

がんばり表

スタート 12月5日～12月9日

	月	火	水	木	金
1	国語	国語	算数	国語	算数
2	理科	国語	算数	算数	算数
3	算数	体育	算数	道徳	算数
4	算数	国語	算数	理科	算数
5	社会	国語	算数	算数	算数
6	社会	国語	算数	算数	算数

シールを
もらおうぞ!



16

PDDへの基本対応

視覚的な工夫

一度に一つ

予定の伝達

肯定的表現

文化に寄り添う

17

視覚を活用した支援例

～服巻智子氏(NHKプロフェッショナル)の実践～

プロフェッショナルの道具;白いメモ帳

服巻が必ず鞆に忍ばせているのが、真っ白なメモ帳。

相談内容を聞き取ってイラストにし事実関係を整理する。そしてどうしたら良かったのかを書き添えて、メモを渡す。自閉症の人たちは視覚的な理解・記憶が得意なため、書いて伝えることが大事だという(2007.10.30放送)

18

自閉圏の子どもたちの文化

- ・感覚(触覚、視覚、聴覚等)の過敏性
- ・真っ直ぐな受け止めの世界

彼らの文化に触れるために、彼らの自伝を読むとよい(T. グランディン、D. ウィリアムズ他)

文化に触れずに起こった悲劇が、奈良の少年放火事件と言えるのではないか

19

発達障害を抱えた不登校の子ども

障害特性故に、ソーシャルスキルの獲得レベルはかなり低い場合があるだろう。スキルが絡む失敗体験が多い故に、セルフエスティームもまたかなり低い場合があるだろう

従来の不登校支援にも増して、ソーシャルスキル、セルフエスティームを意識した支援が必要だろう

20

学校不適応予防を目指した実践例

子どもたちのソーシャルスキルの不十分さに危機感をもったA小学校では、毎週一回朝の短学活15分間を「**SSTタイム**」として設定し、全教員が半年間継続して実践した

多くの学級で、適応感が上昇した。すなわち、居心地の良さを多くの子どもが感じるようになったということ

21

学校不適応改善を目指した実践例

前籍校での不登校経験者が多数を占めるB特別支援学校高等部では、総合の時間を活用した**エンカウンター**を半年間実践した

生徒の自由記述に、「人とかがかわることが楽しくなった」等の肯定的な記述が増えてきた

22

私の実践

～ソーシャルスキルを育む～

□ 例:「話を聞く」等のスキルに関して

1. うまくスキルが**使えない**時を見逃さない
(対応:対決アイメッセージ、確認の質問など)
2. うまくスキルが**使えている**時を見逃さない
(対応:褒める、勇気づける、認める)
3. 「**短時間、楽しい、継続**」活動の工夫
(命令ゲーム、そうだねゲーム、ロールプレイ他)

23

私の実践

～セルフエスティームを育む～

1. **いいとこ探し**;「A君のいいところは だね」
2. **リフレーミング**;「短所は飽きっぽいところ」
「それは という長所でもあるよ」
3. **勇気づけ**;「ありがとう」、「うれしい」、「助かった」

失敗しても自尊心、所属感を失わない態度

子どもが元気になる魔法の言葉がけ

併せて、名前もたっぴり呼ぶ

やはり最後はこれで！！ 「いいとこ四面鏡」

児童のセルフエスティームを高めるには身近な大人、生徒のセルフエスティームを高めるには友人からフィードバックを！

1. 近くの人と4人グループをつくる
2. グループ内でシートを回す(交換する)
3. 自分の名前の欄に、その人のいいところだと思う場所に を3個つける。
4. メンバー全員交換し、書き終わったら自分のシートを見る
5. どうしてその項目に をつけたのか、お互いに伝える

シート交換時の「お願いします」のスキルも大切に！

25

参考文献

- 発達障害の子どもたち、杉山登志郎、講談社
- 特別支援教育のための精神・神経医学、杉山登志郎・原仁、学研
- 特別支援教育基本用語100、上野一彦・緒方明子・柘植雅義・松村茂治、明治図書
- 気になる子への対応術、会沢信彦、曾山和彦、教育開発研究所

26